

## 業績目録（平成22年）

教室・部門名 分子生化学

### (B-b) 和文総説

- 1 横田明日美、奥田 司. 造血発生制御メカニズムの今日的理解. 京都府立医科大学雑誌 119 (10) : 681-694, 2010.

### (C-a) 英文原著

1. Nagamachi A, Htun PW, Ma F, Miyazaki K, Yamasaki N, Kanno M, Inaba T, Honda Z-I, Okuda T, Oda H, Tsuji K, Honda H. A 5' untranslated region containing the IRES element in the Runx1 gene is required for angiogenesis, hematopoiesis and leukemogenesis in a knock-in mouse model. *Developmental Biology* 345(2) : 226-236, 2010. (IF= 3.547)
2. Benjamin JT, Carver BJ, Plosa EJ, Yamamoto Y, Miller JD, Liu JH, van der Meer R, Blackwell TS, Prince LS. NF-kappaB activation limits airway branching through inhibition of Sp1-mediated fibroblast growth factor-10 expression. *J Immunol.* 185(8) : 4896-903, 2010 (IF=4.922).

### E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 330 万円

※ 金額につきましては、すべて本人への助成金額を記入してください。また、当該年度の直接経費のみを記載してください。

### 公的助成（小計 300 万円）

代表 奥田 司

文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）平成22年度（平成21～23年度）  
転写因子異常による造血障害と白血病発症メカニズムの解明  
助成金額 110 万円（平成22年度）

代表 平居 貴生

文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 22 年度 (平成 22～23 年度)  
造血関連因子 Runx1 の骨軟骨組織における新規生物作用の解明  
助成金額 120 万円 (平成 22 年度)

代表 横田明日美

文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 22 年度 (平成 22～23 年度)  
白血病関連転写因子 AML 1 / R u n x 1 の新規機能制御メカニズムの探  
索  
助成金額 70 万円 (平成 22 年度)

財団等からの助成 (小計 30 万円)

代表 奥田 司

- 1 清水免疫学振興財団助成金 平成 22 年度  
造血関連転写因子 RUNX1 の翻訳後修飾による免疫細胞発生制御機構の解明  
助成金額 30 万円

## 業績目録（平成23年）

教室・部門名 分子生化学

### (C-a) 英文原著

1 Blackwell TS, Hipps AN, Yamamoto Y, Han W, Barham WJ, Ostrowski MC, Yull FE, Prince LS. NF- $\kappa$ B signaling in fetal lung macrophages disrupts airway morphogenesis. J Immunol. 187(5):2740-7, 2011 (IF=4.922).

### (D) 学会発表

#### Ⅲ) 国際学会における一般発表

1 ○ Mizutani S, Taniwaki M, and Okuda T. Biological analysis of AML1/RUNX1 arginine-mutants by means of hematopoietic rescue experiments of Runx1-deficient mouse embryonic stem cells. 第53回米国血液学会年次総会（サンディエゴ、米国カリフォルニア州）2011年12月5日。（血液・腫瘍内科学と共同）

### E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 440万円

※ 金額につきましては、すべて本人への助成金額を記入してください。また、当該年度の直接経費のみを記載してください。

#### 公的助成（小計 440万円）

代表 奥田 司

文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）平成23年度（平成21～23年度）  
転写因子異常による造血障害と白血病発症メカニズムの解明

助成金額 110万円（平成23年度）

代表 山元 康敏

文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）平成23年度（平成23～25年度）  
Runx1はEndMTを介して血球産生型血管内皮から造血幹細胞を産生するか？

助成金額 150 万円 (平成 23 年度)

代表 平居 貴生

文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 22 年度 (平成 22～23 年度)  
造血関連因子 Runx1 の骨軟骨組織における新規生物作用の解明

助成金額 100 万円 (平成 23 年度)

代表 横田明日美

文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 22 年度 (平成 22～23 年度)  
白血病関連転写因子 AML 1 / R u n x 1 の新規機能制御メカニズムの探索

助成金額 80 万円 (平成 23 年度)

## 業 績 目 録 (平成 24 年)

教室・部門名 分子生化学

### (C-a) 英文原著

1 Yamamoto Y, Baldwin HS, Prince LS. Endothelial differentiation by multipotent fetal mouse lung mesenchymal cells. Stem Cells Dev. 21(9):1455-65, 2012 (IF= 3.727).

### (D) 学会発表

#### Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Yamamoto Y, Prince LS, Okuda T. Fetal lung vascular progenitor cells exhibit endothelial/mesenchymal plasticity. 14<sup>th</sup> International congress of histochemistry and cytochemistry (京都). 2012年8月27日. (Best Picture Award 受賞)
- 2 ○ Mizutani S, Taniwaki M, Okuda T. A Gene-Targeting Approach for the Biological Significance of AML1/Runx1 Arginine-Methylation. 第54回米国血液学会年次総会 (アトランタ、米国ジョージア州) 2012年12月8日. (血液・腫瘍内科学と共同)

### 研究助成 (競争的研究助成金)

総額 620 万円

金額につきましては、すべて本人への助成金額を記入してください。また、当該年度の直接経費のみを記載してください。

### 公的助成 (小計 470 万円)

代表 奥田 司

文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 24 年度 (平成 24~26 年度)  
白血病関連転写因子 R u n x 1 / A M L 1 の翻訳後修飾による機能制御  
助成金額 140 万円 (平成 24 年度)

代表 山元 康敏

文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 24 年度 (平成 23~25 年度)  
R u n x 1 は E n d M T を介して血球産生型血管内皮から造血幹細胞を産生  
するか？

助成金額 130 万円 (平成 24 年度)

代表 平居 貴生

文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 24 年度 (平成 24~27 年度)  
関節軟骨における P T H / P T H r P 受容体の新規機能の解明

助成金額 120 万円 (平成 24 年度)

代表 横田明日美

文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 22 年度 (平成 22~24 年度)  
白血病関連転写因子 A M L 1 / R u n x 1 の新規機能制御メカニズムの探索

助成金額 80 万円 (平成 24 年度)

財団等からの助成 (小計 150 万円)

代表 平居貴生

1 公益財団法人東京生化学研究会 研究奨励金 平成 2 4 年度  
間葉系幹細胞の細胞分化制御機構における造血関連因子 Runx1 の新規機  
能解析

助成金額 150 万円

## 業績目録（平成25年）

教室・部門名 分子生化学

### (B-b) 和文総説

1 山元康敏、奥田 司. 血球発生と血管分化の crossroad. 京都府立医科大学雑誌 122 (6) : 329-340, 2013.

### (C-a) 英文原著

1 Kitazawa K, Kawasaki S, Shinomiya K, Aoi K, Matsuda A, Funaki T, Yamasaki K, Nakatsukasa M, Ebihara N, Murakami A, Hamuro J, Kinoshita S. Establishment of a human corneal epithelial cell line lacking the functional TACSTD2 gene as an in vitro model for gelatinous drop-like dystrophy. Invest Ophthalmol Vis Sci. 54(8):5701-11, 2013 (IF= 3.404). (視覚機能再生外科学と共同)

」

### E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 270 万円

※ 金額につきましては、すべて本人への助成金額を記入してください。また、当該年度の直接経費のみを記載してください。

#### 公的助成（小計 270 万円）

代表 奥田 司

文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）平成 25 年度（平成 24～26 年度）  
白血病関連転写因子 Runx1 / AML1 の翻訳後修飾による機能制御  
助成金額 140 万円（平成 25 年度）

代表 山元 康敏

文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）平成 25 年度（平成 23～25 年度）  
Runx1 は EndMT を介して血球産生型血管内皮から造血幹細胞を産生するか？

助成金額 130 万円（平成 25 年度）

## 業績目録（平成26年）

教室・部門名 分子生化学

### (B-a) 英文総説

Shimizu S, Yoshida T, Tsujioka M, Arakawa S. Autophagic cell death and cancer. Int J Mol Sci. 15(2):3145-53, 2014 (IF= 2.862)

### (B-b) 和文総説

山元康敏、奥田 司. 血管内皮細胞による造血幹細胞の維持. 血液内科. 69(3):309-320, 2014.

## E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 570 万円

※ 金額につきましては、すべて本人への助成金額を記入してください。また、当該年度の直接経費のみを記載してください。

### 公的助成

代表（小計 570 万円）

代表 奥田 司

文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）平成26年度（平成24～26年度）  
白血病関連転写因子 Runx1 / AML1 の翻訳後修飾による機能制御  
助成金額 140 万円（平成26年度）

代表 吉田 達士

文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）平成26年度（平成26～28年度）  
食品成分による分子標的癌予防法の開発 助成金額 150 万円（平成26年度）

代表 山元 康敏

文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）平成26年度（平成26～28年度）  
Runx1 による造血幹細胞産生メカニズムの解明  
助成金額 130 万円（平成26年度）



代表 忠垣憲次郎

文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 26 年度 (平成 25～26 年度)

アミノ酸シグナルを担うトランスポーター依存的 mTOR 活性化機構の解明

助成金額 150 万円 (平成 26 年度)